

京都大学

「地域コミュニティレジリエンスを育むための隙間デザイン」ワークショップ

2022年11月4日(金) 13:00~16:00 / オンライン参加募集



私共は、国際科学技術協力基盤整備事業（日本 - 米国研究交流）の支援を受け、「レジリエンスに基づく事前復興のためのガバナンス枠組みと実践モデル—複合災害に焦点を当てたシステムズアプローチ」と題する研究を進めてまいりました(本プロジェクトのWebサイト:<https://japan-us-resilience.com/>)。その一環で、このたび2022年11月4日(金)に、京都大学にて、地域コミュニティおよび一般を対象にした「地域コミュニティレジリエンスを育むための隙間デザイン」ワークショップを開催します。

本ワークショップでは分野や専門枠を超えて多様な知を紡ぎながら近年複雑化・激甚化する災害を背景に現状および教訓を俯瞰的に振り返り、隙間を明確にし、その隙間をデザインするために何ができるかについて対話することを目的とします。

別々のトピックや地域別に議論されやすいテーマを、レジリエンスの視点から俯瞰的に扱い、参加者の複眼的視点から、普段見えにくい「隙間」を浮彫りにして、様々な災害に向き合いながら私達の暮らしや営みを守り、発展させていくための隙間デザインを、専門枠など違いを超えて多様な方々と共に協働で複眼的視点から描いていきます。

主催：京都大学レジリエント社会創造研究会 / JST 日米レジリエンス研究プロジェクト

日時：2022年11月4日(金) 13:00~16:00

対象：地域コミュニティ、一般

方法：ハイブリッド（登壇者のみ現地、聴衆者は ZOOM / オンラインにて参加）

【プログラム】

13:00~13:10：イントロダクション

13:10~14:20：パネル対話①「弱者と防災：隙間デザイン」（登壇者の詳細は別途 Web サイトに掲載）

14:20~14:35：地域コミュニティにみる「防災の隙間」（*）

14:35~15:55：パネル対話②「地域現場と政策：隙間デザイン」（登壇者の詳細は別途 Web サイトに掲載）

15:55~16:00：クロージング

登録：Web サイト (<https://japan-us-resilience.com/>) の専用リンクよりご登録ください。

登録は2022年11月2日(水)に締め切ります。

*地域コミュニティにみる「防災の隙間」を各地・現場の方から募集します。詳しくは Web サイトの専用リンクをご覧ください。